

やまがた 商工連

328

April 2017

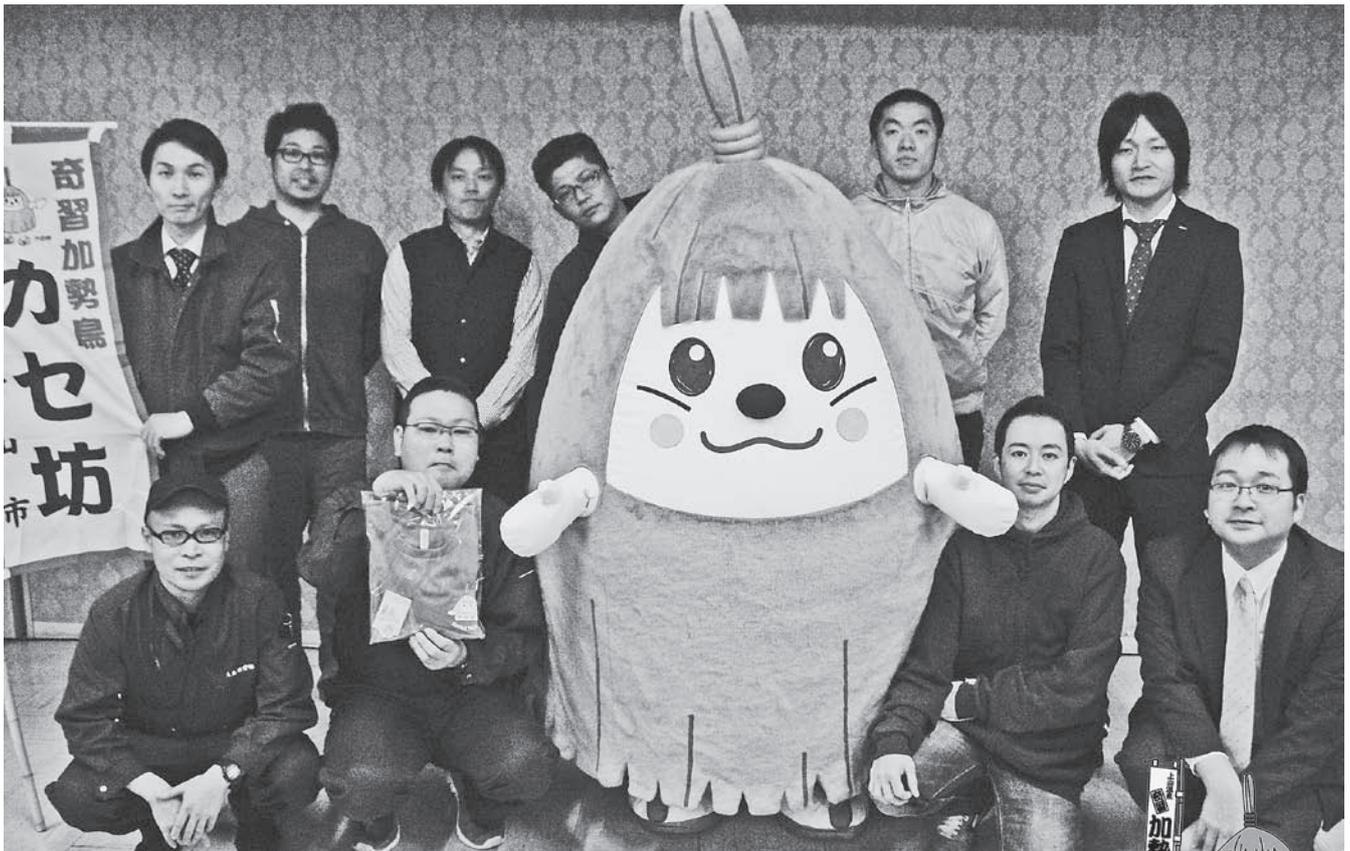
発行 山形県商工会連合会
会長 小野木 覺

〒990-8580 山形市城南町1-1-1
霞城セントラル14階 TEL 050-3540-7211

URL <http://www.shokokai-yamagata.or.jp>

contents

- ・商工会経営指導員事例発表会……………2
- ・山形県県産食品等販路開拓支援事業……………3
- ・経営支援事例紹介……………4
- ・青年部・女性部活動コーナー……………6
- ・県内統一景況調査報告……………8



「カセ坊」(上山市商工会)

上山市商工会青年部プロデュースの上山市PRキャラクター。上山の伝統行事、奇習「加勢鳥」をモチーフに、愛くるしい瞳とミノをかぶった独特の風貌が特徴。上山市内外のイベント等で活躍しています。

プロフィール

- ◆誕生日 2月11日(奇習カセ鳥の日)
- ◆性別 男の子
- ◆好きな食べ物 元祖カセ鳥鍋、かみのやまロール
- ◆性格 お祭り好き、水が好き
- ◆趣味 温泉巡り、ウィンタースポーツ



商工会経営指導員 事例発表会

平成28年1月27日ホテルメトロポリタン山形にて経営指導員による事例発表会を開催しました。県内7エリアの経営指導員チームの代表者7人がそれぞれの支援事例を発表し、審査の結果、東南村山広域連携
携エリアの佐藤
忠伸経営指導員
(山辺町商工会)
が最優秀賞に選ばれました。その他にも商工会では幅広い支援を行っていますのでお気軽にご相談ください。



商工会長・事務局長・経営指導員120名が出席



北村山広域連携携エリア
尾花沢市商工会
伊藤 宏一

『おいしさの物語をつくる経営革新認定支援』笑顔があふれる未来へ』

食肉処理加工業の企業から原材料高騰による利益率の低下などの相談を受け、商品メニューのフィードバックシステムの構築、調理作業のオペレーションを提案。新たなビジネスモデルを構築し、経営革新計画の承認に至るまでバックアップを行った。



東置賜広域連携携エリア
川西町商工会
平吹 秀敏

『チームで取り組む経営計画作成支援』仕事は楽しく、納期は厳しく、品質の高いモノづくりを実現するために』

プラスチック成形業の企業から作業工程の効率化・試作開発期間の短縮化を図りたいといった相談を受け、持続化補助金申請、経営計画書の作成、経営理念の策定等を支援。他の支援機関との連携により、多方面からの専門的な支援を実施した。



東南村山広域連携携エリア
山辺町商工会
佐藤 忠伸

『まちの八百屋から飲食業へ・新分野への挑戦』新鮮野菜・果物を使用した新商品スイーツの開発』

新規事業の立ち上げについて青果販売業の企業より相談を受け、イートイン方式による飲食事業を提案。持続化補助金を活用した冷蔵庫・冷蔵ショーケースの購入、経営革新計画の支援のほか、主婦層や年配の方などターゲットを意識した新商品を開発し、集客向上・販売拡大につながった。



庄内地区広域連携携エリア
出羽商工会
伊藤 司

『20年に亘る商工会支援の軌跡』立ち上げから新しい時代の幕開けへ』

創業時から経営・雇用管理・金融等の多面的な支援を行ってきた農場レストランに対し、専門家派遣、経営革新、持続化補助金等の支援を実施。仙台への新規出店・事業承継の方向性が決定するなどの成果が得られた。



西村山広域連携携エリア
西川町商工会
佐藤 泰

『地域密着の和菓子店の販路開拓による経営力向上計画』

老舗菓子店の現状を分析し、経営課題を抽出。SNSの活用、新商品開発、来店客専用の限定メニューの提供など、優先順位が高く、すぐに始めることが可能なものから提案を行った。この提案がきっかけとなり、企業の前向きな姿勢を後押しすることができた。



西置賜広域連携携エリア
飯豊町商工会
影澤 政克

『事業主と共に悩んだ課題解決までの道のり』

売上減少に歯止めをかけたという飲食店からの切実な相談を受け、店舗改装による女性客・年配層の取り込み・自家製無農薬野菜の使用による利益率アップ・新商品開発を支援。持続化補助金を活用し、メニュー表とホームページを一新し、新規顧客を獲得することができた。



最上地区広域連携携エリア
もがみ南部商工会
矢口 春巳

『ラーメン消費量日本一山形での「ラーメン店創業」支援』

経営計画作成・やまがたチャレンジ創業応援事業助成金・税務支援等を通してラーメン店の創業を全面的にバックアップ。専門家派遣を活用した閑散期対策・新メニュー開発等の提案を行い、新規開業から軌道に乗るまで伴走型支援を行った。

サイバーセキュリティに関する相互協力協定を締結

県内の中小企業その他の企業及び事業者のサイバーセキュリティ対策の強化及び支援のため、山形県警察と本会、ならびに山形県商工会議所連合会、山形県中小企業団体中央会、公益財団法人山形県企業振興公社、一般社団法人山形県情報産業協会の間でサイバーセキュリティに関する相互協力協定が締結されました。

この協定では、本県の地域経済を支え、その発展に重要な役割を果たしている中小企業等のサイバーセキュリティ対策を強化するため、協定機関が相互に連携・協力し、安全・安心な山形県を実現することを目的とし、今後はサイバーセキュリティ意識の向上を目指した広報活動や相互連携による相談体制を構築します。



山形県産食品等販路開拓支援事業

本会では、県内の食品製造事業者等が製造、販売する県産食品の魅力为全国にアピールするための足がかりとして、首都圏への進出を目指す事業者に対し、売れる商品づくりのアドバイスや新規販路の開拓を、段階に応じた4つのステップを通して支援しています。

① 商談代行（セールスステップ）

商談のプロであるセールスパートナーが首都圏のバイヤーに向けて事業者に代わって商品の商談代行を実施します。

② 同行商談会

商談のプロであるセールスパートナーが実際の商談に同席し、交渉の進め方を実践的に学び、次回の商談に繋げていきます。

③ パッケージデザイン更新

商品の魅力を伝えるために重要となるパッケージについて、プロのデザイナーの視点からアドバイスを受け、パッケージデザインの更新を支援します。

④ テストマーケティング

規格やデザインを変更した商品を、首都圏のスーパーマーケットでテスト販売することで、実際に首都圏の消費者ニーズに合致した商品となっているかどうかを確認した上で、本格的な販路拡大に取り組んでいきます。



○ テストマーケティング

「山形フェア」実施

首都圏の市場や消費者ニーズに合った商品開発の支援を目的に、過去に参加された事業者のうち、商品パッケージの変更を行った商品を対象として、平成29年1月21日～1月29日までの9日間、クイーンズ伊勢丹大宮店にてテストマーケティング「山形フェア」を実施しました。9日間の販売を通して得られた店舗現場からのアドバイスは、商品改良を通してさらなる魅力的な商品づくりに役立てて頂きます。



クイーンズ伊勢丹大宮店での「山形フェア」



「東北くらしのマーケット」における特設販売「山形フェア」をルミネ2大宮4階にて同時実施

取組事例の紹介

自社のブランドカラーを活用した商品パッケージのリニューアル

有限会社酢屋吉正（川西町商工会会員）

同社は本事業に参加し、同社の看板商品の1つである絶妙な食感と唐辛子の辛さが特徴の「南蛮納豆」のパッケージ変更を行い、首都圏での販路開拓を進めています。自身も靴職人として仕込みを行う中、靴を使ったレシピのワークショップ開催や各地で行われる物産展への出展など、置賜地方の靴文化の継承に取り組んでいる社長の佐藤直希さんにお話をお聞きしました。

自分自身の営業による販路開拓には限界がありますが、この事業に参加することで、多くのバイヤーとの深いネットワークを築くことができました。同行商談では材料と製法にこだわった、当社の看板商品である「南蛮納豆」がバイヤーの試食で高評価をいただきましたが、現行のパッケージでは首都圏の消費者へ十分に商品の魅力を伝えきれないとのア

ドバイスを受けました。

そこで、この事業のパッケージデザイン更新支援事業を活用し、デザインを一新することにしました。昨年度の商談代行からお世話になっており、当社の商品特徴をよく理解している「商談のプロ」新日本スーパーマーケット協会の長澤さん、デザイナーの津田さんと一緒に当社のブランド方針、商品の方向性を検討し、デザインの提案を頂きました。新デザインにリニューアル後、再度バイヤーさんに案内を行い、首都圏への販路拡大を目指していきます。



左から、デザイナーのT-Square 津田さん、有限会社酢屋吉正 代表 佐藤直希さん、セールスサポーターの長澤さん



バイヤーから頂いたアドバイスをもとに、デザイナーが社長から聞き取りを行い、デザインの方向性について検討



住所 川西町上小松2540-1
TEL 0238-42-2052
営業時間 9:00～17:30（日曜・祝日定休）



ブランドカラーの深い青色をベースに、紋をメインビジュアルに使用し、江戸時代安永年間創業の老舗感を演出

看板商品「どら焼き」の

県内外への新規顧客の開拓

「小規模事業者持続化補助金の活用と」

地方公共団体連携型広域展示・商談会事業

「いいもの発見 やまがた物産展」への参加

角松屋 (小国町商工会会員)

小規模事業者

持続化補助金とは？

小規模事業者が、商工会の助言等を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って地道な販路開拓等に取り組み費用の3分の2を補助する制度。

地方公共団体連携型

広域展示・商談会事業

「いいもの発見

やまがた物産展」とは？

県内中小企業者・小規模事業者の販路開拓と商品力・販売力の向上を目的に、山形県商工会連合会が主催した物産展。平成28年11月17日～11月23日の7日間、東武百貨店池袋店にて開催され、71事業者が出展。



店主の今政行さんと奥様の勝子さん

今回ご紹介する事業所は、小国町の和菓子店「角松屋」です。商工会の持続化補助金を活用し、看板商品である「どら焼き」の県内外への販路開拓に積極的に取り組んでおり、平成28年に開催された「いいもの発見 やまがた物産展」では、初の首都圏での物産展に出展されました。持続化補助金を活用した販路開拓と物産展への出展を振り返って、店主の今政行さんにお話しを伺いました。

○看板商品

「角松屋のどら焼き」

「一度食べてみれば美味しさがわかる」と自慢のどら焼きは、地元の方だけでなく、口コミによる評判で県外からの注文も増えてきています。特に新潟方面のスーパーでは定番商品として取り扱って頂いていること



ショーケースには看板商品のどら焼きが並ぶ

ことから、最近当店までお越しいただくお客さんも多くなってきたと感じています。どら焼きについては定番のあずき、栗、ずんだに加えて、さつまいも、抹茶などの季節限定商品も用意しています。一番人気のあずきは、北海道産の小豆にこだわり、当店で豆から煮詰めて餡を作っています。

○持続化補助金の活用

取引先の企業を通して持続化補助金を知り、早速商工会へ連絡し、申請にチャレンジしました。経営計画や事業計画の作成など、商工会の助言を受け申請書を作成し、補助金の採択を受けることができました。補助金を利用して、販路拡大に必要などら焼き機を購入し、これにより、これまで生産体制に余裕がなかったために注文を受けることができな

かった新潟県内へのスーパーへの納品が可能になり、販路を大きく拡大することができました。

また、当店は国道から入った場所にあるため、店舗の場所についての問い合わせが多く、お客さんにご不便をかけていたとの思いから、この問題の解決のために、翌年も商工会の助言を受けながら持続化補助金を申請したところ、採択を受け、看板を設置することができました。

補助金の申請を振り返ってみると、書類の多さに驚いたこと、そして申請書の記入についても初めての経験で、様々な場面で商工会のサポートを受けたことが印象に残っています。説明会でセミナーを受け、「自分で書けそう！」とその場では思っても、いざ計画書を記入するとなると、どこから手を付けて良いのか分からなくなることもありました。商工会と

一緒に事業を進めていくことができ
る持続化補助金は、私たち事業者
にとって経営計画を自ら考えるき
っかけにもなりました。

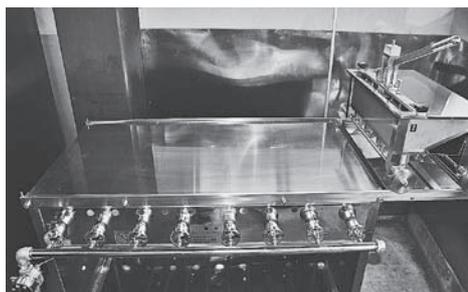
○初の首都圏での物産展

看板の設置も順調に進む中、商
会連合会で開催する物産展への出
展の案内を頂きました。当店にと
つても7日間という大型の催事への出
展経験はなく、ノウハウもない状
態での出展は非常に不安でしたが、
商工会、そして商工会連合会の方
から何度も相談にのっていただき、
出展することができました。

物産展開催期間中は、私が店舗
でどら焼きを作って東京へ発送し、
息子たちが物産展で販売するという
法を取りました。開催初日は首都
圏に住む当店のお客さんが多く訪
れ、



持続化補助金で購入・設置したどら焼き機
と看板。同店の名物であるどら焼きを大
きく配置した



励ましの言葉、差し入れ等も頂き、
とても勇気づけられたと聞いていま
す。口コミによる地方発送も増えて
きている一方、そういった遠くのお
客様に対しては、直接お会いして感
謝する機会もなかなかありませんで
したので、首都圏のお客様へ少しで
も感謝を伝えることができたのか
と思っております。開催期間中は持
続化補助金で購入したどら焼き機を
フル稼働させても、商品の補充が間
合わないほどの盛況で、当初目標を
大きく上回る6,000個を完売しま
した。最終日は百貨店の方から「完
売おめでとうございます」との言葉
を頂き、東京・東武百貨店に出展
したという自信も得ることができ
ました。

持続化補助金をきっかけに、初
年度はどら焼き機の購入で生産体制
を整えることができ、販路拡
大に必要な設備投資を行う
ことができました。また、
翌年は国道沿いに看板を設
置したことにより、町外
のお客様に当店のことを知
っていた

整えることができ、販路拡
大に必要な設備投資を行う
ことができました。また、
翌年は国道沿いに看板を設
置したことにより、町外
のお客様に当店のことを知
っていた



「いいもの発見 やまがた物産展」では、看板商品のどら焼き(あずき・栗・ずんだ)を販売。目標を大きく上回る6,000個を完売した

だく体制も出来上がりました。首都
圏での物産展の経験を今後も活か
し、更なる販路拡大を図ってい
きたいと思っております。



住所 小国町大字小国小坂町2-38
TEL 0238-62-2205
営業時間 7:00~18:00 (不定休)

業界初!! 『休業対応応援共済』発売開始

☆火災、落雷、台風などの自然災害、大雨による水災のほか **地震・噴火・津波**
による休業の際も補償されます!!

※お近くの商工会へお問い合わせ下さい。

山形県火災共済協同組合

等育成事業 提案公募型事業

平成28年度は、7商工会青年部が事業を行いました。新たな取り組みを企画するなど、青年部らしい発想で地域活性化に貢献しています。

寒河江市商工会青年部

『コドモシゴト ボクノマチクエスト』

子供たちが冒険感覚で、働く楽しさや大切さを学ぶ職業体験イベント。多種多様な職業があることを知ってもらおうと企画し、市内の理美容店、花屋など55事業所が参加した。各ブースにて職業体験をし、働くことで仮想通貨がゲットでき、その通貨を使って飲食ができるよう工夫した。



東根市商工会青年部

『mono-katari ～ぼくらがつなぐストーリー～』

東根市の歴史をアニメーションと花火の演出で上映。部員が文献や関係者に聞き取りを行い、映像はすべて手作りで、セリフやナレーションなどのアフレコも部員で行った。約35分の動画を作成するのに6か月も時間を費やした大作となった。



もがみ北部商工会青年部

『スノーフェスティバル in かねやま』

金山町「グリーンバレー神室スキー場」で、スノーフラッグ・そりひき競走・雪上ムカデ競走・バケツタワー・障害物リレー・雪上カーリング6種目の雪上競技を開催。食ブースも用意し、事業所の自慢の一品、特産品販売を行い、もがみ北部エリアの魅力をPRした。



高畠町商工会青年部

『こどもの雪まつり』

廃校となった中学校のグラウンドを利用し、親子で雪遊びを楽しんでもらう企画。新学期が始まる前に、子供たちの友達作り・親交を深めるきっかけの場を作りたいと今回初めての開催となった。会場には重機を使ってかまくらや滑り台を用意し、町のマスコットキャラクター「たかつき」「はたつき」の雪像作り、子どもと大人に分かれて対戦した雪合戦が行われた。



川西町商工会青年部

『日本酒・カクテル・パーティー』

日本酒カクテルの商品化と出会いの場となるカクテルパーティーの開催。川西町の4軒の酒蔵の日本酒をカクテルにして、町内外のイベントにて試飲会を実施し、町飲食店で提供。カクテルパーティーでは町特産物を使った料理を提供し、青年部プロデュースカクテルやきき酒などを企画した。



白鷹町商工会青年部

『べにたかちゃん 地方創生プロジェクト』

青年部のご当地キャラクター「べにたかちゃん」を活用し、白鷹町の魅力を再確認するため、定期的な地域イベントへの参加、広報紙の発行を行った。



若手後継者

商工会青年部・女性部の企画する地域の課題解決やビジネス化モデルの事業に助成金を交付しています。

平成27年度提案公募型事業で、優良商工会女性部に選ばれた白鷹町商工会女性部の取り組みを紹介します。

『小さなエコを集めて 大きなエコへ』

事業のきっかけ

毎日関わりのある「食」を通して、省資源化に向けて何ができるのかをも一度考えてみようということから始まりました。

白鷹町商工会女性部



メニュー（紅花と紅花の若菜を使った料理 紅花茶の冷茶を添えて）

エコクッキングレシピ集の作成
今回の事業を踏まえて、白鷹町美しい郷づくり推進会議が以前から作成していたエコクッキングレシピ集を改めて見直し、新たに作成し直しました。

今後は
今回学んだレシピやキャンドルづくりを自宅でも実践するだけでなく、作成したレシピ集を女性団体へ配布するなどして紅花料理を含めたエコ・クッキングを広く周知していきたいと考えています。

「紅花」を使ったエコ・クッキング
食材としては意外性があり、町の特産品で7月が旬の「紅花」を利用したエコ・クッキングを実践。講師の先生からエコ・クッキングの意義と効果と実際の調理の作業手順の説明を受け、次の流れで調理実習を開始。

「紅花」のキャンドルづくり

節電の取り組みとして、「紅花」を利用したろうソクを製作。年に1度でも電気の明かりを消してろうソクの火を灯して過ごすことで、小さなエコロジータにつながります。その灯りがたくさん

- ① 「紅花押しすし」
- ② 「紅花若菜干し煮」
- ③ 「紅花入じゃが芋だんご」
- ④ 「紅花入さつぱり大根漬け」
- ⑤ 「紅花乱花下処理の仕方」

紅花の乱花は下処理をしないと調理には扱いにくい食材のため、いかにその下処理をきっちり行い、かつ細かい乱花を無駄にせず使うかという部分への注意が必要でした。

参加者からは

「紅花を使うと鮮やかな色彩になるので見た目も良く、お客様にも提供したくなる料理だったので大変参考になった。また、一人ひとりの小さな節約の積み重ねが大事であることを実感した。」

「これまで普段の調理では、まだ食べられる皮など平気で捨てていたが、調理しだいで美味しく食べることができるとして学んだ。早速家でもやってみようと思う。」

事業を実施して
7月は紅花の最盛期であり、白鷹町は紅花生産量日本一を誇る町です。今回食材として紅花を使用することで白鷹町のPRも兼ねることができました。

ればこれもまた大きなエコロジータへと広がっていきます。



紅花キャンドルづくり



置賜地区の女性部員が参加

商工会会員の皆さまへ
 うれしいお知らせ!!

商工会の福祉共済 「傷害プラン」に 平成28年11月から 2,000円、3,000円、4,000円コース

個人賠償責任保険が

付いて さらに安心!!

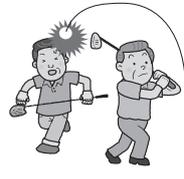


日常生活の事故やトラブルで賠償責任が生じたとき **最高1億円まで補償**

示談交渉も
おまかせ!!

●例えば、このような事故が起きたとき

同居のご家族も
補償の対象!!



自転車を運転中、あやまって他人と接触してケガをさせてしまった!

飼い犬が散歩中に他人に噛みつきケガをさせてしまった!

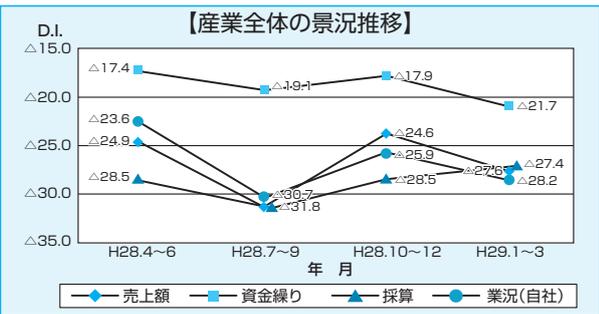
買物中、あやまって商品を落として割ってしまった!

ゴルフのプレー中、打ったボールが他人に直撃し、あやまってケガをさせてしまった!

☆☆☆☆☆ 詳しくはお近くの商工会までどうぞ!! ☆☆☆☆☆

県内統一景況調査報告 [平成29年1~3月期]

【調査要領】 調査対象：山形県内商工会地域の企業（原則として1商工会あたり15企業） ※D.I.とは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、以下により算出しております。
 調査時点：平成29年3月1日 D.I.=【各項目の増加（上昇・好転）企業割合（%）】
 調査方法：商工会経営指導員による企業への訪問ヒアリング調査 -【各項目の減少（低下・悪化）企業割合（%）】



【主要業種の今期の景況】

商工会地区の景況天気図	製造業	建設業	小売業	サービス業
売上額 (完成工事)	☂ -16.4	☂ -18.0	☁ -45.8	☁ -30.3
資金繰り	☂ -18.1	☁ -8.1	☁ -34.4	☂ -26.2
採算	☂ -20.8	☂ -19.7	☁ -40.6	☂ -28.3
業況	☂ -17.8	☂ -19.7	☁ -47.4	☂ -27.7

☁ 快晴: D.I値30.1~100.0
 ☂ 晴れ: D.I値10.1~30.0
 ☁ 曇り: D.I値-9.9~10.0
 ☂ 雨: D.I値-29.9~10.0
 ☁ 雪: D.I値-100.0~-30.0



ホテルで過ごすひとときが
 最良の一日となるよう
 おもてないたします。



今日を最良の一日に
FOR THE BEST

Hotel Metropolitan Yamagata
 〒990-0039 山形市香澄町1-1-1
 TEL 023-628-1111 (代)
 HP <http://yamagata.metropolitan.jp/>